

# ライティング・プロセスの 計画段階におけるクイック ライティング指導の効果

山梨県立大学 杉田 由仁

中部地区英語教育学会 自由研究発表

2005/6/26

## はじめに

- ライティングの過程を重視して行うライティング指導  
「計画段階」(Pre-writing activity/Organizing)  
「推敲段階」(Drafting, Revising/Proofreading)  
「編集段階」(Editing, Sharing)
- 杉田(2005)の調査
- 「計画段階」における事前活動の方法(Pre-writing invention techniques)改善の必要性

中部地区英語教育学会 自由研究発表

2005/6/26

## クイックライティング(Quickwriting)の概要

- クイックライティングの基本原則(Jacobs 1986)
  - 1) Concentrating on content  
→内容面に集中させる
  - 2) Not worrying about form  
→形式面に注意を向けさせない
  - 3) Writing without stopping  
→中断することなく書き続けさせる

中部地区英語教育学会 自由研究発表

2005/6/26

- クイックライティングの指導手順

- 1) 言語の形式面の扱いに関する説明
- 2) 書く手を止めずに書くことについての指示
- 3) 誤りは訂正せず書き進めるように指示
- 4) 書く内容が思い浮かばない時の対処
- 5) 単語などが思い出せない時の対処
- 6) 時間制限と延長についての説明
- 7) 評価との関わりが無いことについての説明
- 8) 教師による実演

(1986, 284-285)

中部地区英語教育学会 自由研究発表

2005/6/26

## クイックライティングの効果

- 「書く内容を発見したり、発展させる戦略(quickwriting as an invention strategy)」としての効果(Hilgers 1980)
- 時間制限により、母語を介在させずに直接英語で思い浮かんだ表現を書く活動を促進する効果(Lane & Perrin 1984)
- トピックに直接関係のない考えや感情を取り除き、書こうとする内容に集中させる効果(Elbow 1981)

中部地区英語教育学会 自由研究発表

2005/6/26

## 研究の目的と方法

- 研究目的  
「大学生学習者を対象として行うプロセス重視のライティング指導において、**計画段階の事前活動としてクイックライティングを導入**することが、「自己紹介文」の内容として自分自身のことをできるだけ多く英語で書かせるという指導目標を達成する上で効果があるかどうかを実証的に検証する。」

中部地区英語教育学会 自由研究発表

2005/6/26

## 研究方法

- 対象者  
授業実践の対象者は、山梨県内の大学・看護系学部<sup>1</sup>に在籍する2年生(2004年度生)と1年生(2005年度生)、各50名。
- ライティング指導の目標  
パラグラフ・ライティングの初心者を対象として、ライティングのプロセスを重視した指導を行い、「自己紹介文」を完成させる。

中部地区英語教育学会 自由研究発表

2005/6/26

## 2004年度生の指導

- Pre-writing activity: **Listing**  
→自分の氏名から自己紹介の内容として連想されるものをできるだけ多くリスト・アップさせる(10分間)
- Organizing: Writing a topic sentence, outlining
- Drafting
- Revising/Proofreading
- Editing, Sharing

中部地区英語教育学会 自由研究発表

2005/6/26

## 2005年度生の指導

- Pre-writing activity: **Quickwriting**  
→クイックライティングの説明と教師の実演を行い、「My name is ~」を書き出しの文として10分間のクイックライティングに取り組ませる
- Organizing: Writing a topic sentence, outlining
- Drafting
- Revising/Proofreading
- Editing, Sharing

中部地区英語教育学会 自由研究発表

2005/6/26

## 調査の方法

- “Drafting”の授業で、2004年度生にはリスティングしたものを、また2005年度生にはクイックライティングしたものを参考にして下書きをさせ、「文章全体の語数」「文の数」「自己紹介文の内容として書かれたトピック数」「各トピックに対する説明・具体例として書かれた文の数」という量的基準に照らし合わせて分析する。
- クイックライティングについてのアンケート調査は項目ごとに度数と%による集計を行う。

中部地区英語教育学会 自由研究発表

2005/6/26

## 調査の結果(1)

- 文章量の増大に与える効果

調査項目	平均値(2004/2005)	t 値
文章全体の語数	111.63 / 168.63	5.86 p<.01
文の数	12.33 / 18.60	5.30 p<.01

中部地区英語教育学会 自由研究発表

2005/6/26

## 調査の結果(2)

- 内容面の量的充実に与える効果

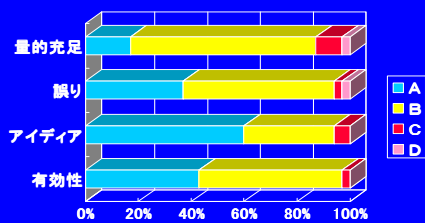
調査項目	平均値(2004/2005)	t 値
トピックの数	3.06 / 3.26	0.79 n.s.
トピックに対する支持文の数	4.52 / 6.18	2.50 p<.05

中部地区英語教育学会 自由研究発表

2005/6/26

## 調査の結果(3)

### ● クイックライティングに対するアンケート



中部地区英語教育学会 自由研究発表

2005/6/26

## 調査結果のまとめ

- 事前活動の方法としてクイックライティングの方がリスティングよりも文章量を増大させる効果が大きい(←調査結果1)。
- クイックライティングの方が内容面の量的充実に与える効果が大きい(←調査結果2)。
- 英文の誤りなどを気にせずに、書き続けることにより、ある程度満足できる量の英文を書くことができる。また書きながら新たな考えを発見することができる(←調査結果3)。

中部地区英語教育学会 自由研究発表

2005/6/26